

「愛知の新たまねぎの日」に合わせて

『サラダたまねぎ』PRイベントを開きます！

【4月9日（日）／碧南市農業活性化センターあおいパークで】

J Aあいち中央碧南玉葱部会（部会長：杉浦満男）は、4月10日の「愛知の新たまねぎの日」を先取り、9日（日）に碧南市農業活性化センターあおいパークで、市特産タマネギ「へきなんサラダたまねぎ」のPRイベントを開きます。

部会では、3月中旬から4月下旬の期間限定で、極早生タマネギの中から辛みの少ない品種を選び「へきなんサラダたまねぎ」のブランド名で出荷しています。みずみずしく、水にさらさなくても生で食べられるのが特徴で、消費者からも人気を集めています。

4月10日は、「41（良い）」「0（タマネギ）」と読む語呂合わせと、愛知県の新タマネギの出荷が最盛期を迎えることから、J Aあいち経済連が日本記念日協会に登録しました。

「愛知の新たまねぎの日」PRイベント概要

- 日時：2023年4月9日（日）／午前9時～正午
- 場所：碧南市農業活性化センターあおいパーク（碧南市江口町3-15-3）芝生広場 ※雨天の場合は施設内で行います。
- 内容：特設ブースを設け「へきなんサラダたまねぎ」の詰め放題（1回300円／無くなりしだい終了）を行います。

（タイムスケジュール）

午前9時00分～

オープニングセレモニー（碧南玉葱部会長、碧南市長（予定）、J Aあいち中央組合長あいさつ（予定））

午前9時10分～

「へきなんサラダたまねぎ」詰め放題



イベントの様子（タマネギ詰め放題）

碧南市のタマネギの栽培概況（J Aあいち中央碧南玉葱部会）

- 部 会 員：142人（内、「へきなんサラダたまねぎ」生産者は約100人）
- 栽培面積：100ha（内、「へきなんサラダたまねぎ」は約29ha）
- 出荷時期：「へきなんサラダたまねぎ」は4月末まで。早生、晩生タマネギが6月末まで出荷。
- 総出荷量：約8,000t（内、「へきなんサラダたまねぎ」は1,500t。1箱10kgで出荷）
- 流 通 先：中京・北陸・甲信越・東北（「へきなんサラダたまねぎ」は中京市場を中心に北陸地方へ出荷）他、J Aあいち中央産直店舗やJ A農産物ネット販売サイト「碧海そだち～オンラインショップ～」で販売しています。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL:0566-73-5504／携帯:080-3667-3853／E-mail:kouhou@jaac.or.jp